



★ 4さいRくんのママ

息子には指示せず自然な会話やジェスチャーをヒントにして、息子自身でなにをすべきか気づくようにしています。

たとえば、盛り上げても断固としてお片づけをしないとき、「Rくん（息子）がトミカも絵本も片づけてくれない。いつもだしっぱなし。お母さんもういやだ」とどんよりしてみました。

すると息子はすぐに立ち上がり急いで片づけ始めました。私は「うれしい〜！！」と大喜びして見せて、息子の気分を盛り上げました。ほかに、息子がお茶を飲みたがったときに「あれ？お茶どこにあるんだっけ？あれ？どうやればお茶でるのかなあ」（見えるところにお茶のボトルがあります）と私がとぼけると、息子は自分でついで飲みます。

「上手にできるんだね〜」なんてほめて、「おいしそうだな〜」と物ほしそうに言う私に一口くれたりするようにもなりました。また、外遊びから帰宅するとリビングにあるおもちゃに一直線で遊びがちな息子なので、帰宅途中に「うわ！おてて真っ黒！きたないね〜」と私が言うと「おてて洗えばきれいになるよ」と息子が得意げに答えます。

その流れだと、帰宅するなり自分から急いで手を洗いに行けるんです。

そんな風に自然な会話の中からやるべきことを見つけられるようになってきた息子。公園で泣いている子がいたときに、その子を慰めてからお母さんのところへ行行って知らせていたのを見たときには、ずいぶん自分で考えて声をかけられるようになったなと思って、感激したものです。

会話のレッスンで自発性を引きだすやりかたを始めてから、息子の“自分で考えてやりたい熱”はどんどん上昇して、子どもらしい好奇心でイキイキとした表情に変わっていきました。そしてみずから伸びようとする力はすべての行動にいい影響を与えてくれました。

